

絵話塾は絵本と イラストを学ぶ 特別な教室です

絵話塾(かいわじゅく)は、第一線で活躍中の絵本作家やイラストレーターが講師を務める、実践的な講座です。日々の暮らしを楽しく彩りたい方からプロの絵本作家やイラストレーターを目指す方まで、幅広く対応しています。絵が好きでこれから描いていこうとする方に対して、さまざまなメディアで見かける憧れの先生から、直接アドバイスやサポートを受けながら授業を進めていきます。本やインターネットからでは絶対味わえない、情熱や空気感まで体験できる貴重な授業です。先生方は皆さんフレンドリーで親しみやすく、和気あいあいと楽しく学んで、絵話塾を修了する頃には確実に成長できているでしょう。

※開塾から16年を経て、卒業生の中にはプロで活躍の方も
沢山おられます。

特 徴

●第一線で活躍している作家が講師陣

教えるプロの先生ではなく、実際に第一線で活躍中の作家が講師。
だから実践的でオモシロイ。

●他の講座もスポット受講できます

在籍中のクラス以外でも興味のある他のコースも、卒業生・在校生なら
受講できます。(有料)

※絵本レベルアップ・イラストレベルアップコース

基礎クラス・文章たっぷりコースはスポット受講ができません。

●先生との距離が身近に

授業が終われば、憧れの先生と直にお話ができ、アドバイス等がもら
える場合があります。

●修了展の開催(参加費無料) ※但しDM代として500円いただきます。

1年間の授業が終われば、教室の隣のギャラリーVieで修了後に2週間、
作品展を開催いたします。参加は自由です。





絵話塾 本科は3コースあります

絵本ゆっくり塾

■特徴

「絵本ゆっくり塾」は、絵本のプロとして第一線で活躍されている講師の方々と共に、ゆっくり学んでいくコースです。

将来絵本作家になりたい方はもちろん、プロは目指さないが自分自身や、誰かのために絵本を作りたいという方まで、幅広く対応しています。

■授業内容

このコースでは絵・ストーリー・画面構成・ページ構成など、実際の絵本制作に則したことや、制作上の心構え、編集者目線で絵本の考え方、出版社への売り込みに関することまで、知識や技術の習得だけでなくメンタル面で絵本にとって必要なことも学んでいきます。

例えば、A先生は本の成り立ちからアイデア出しの方法、画材の使い方・選び方といった絵本の作り方全般について。B先生は実験的なミニ絵本をその場で制作・講評。C先生はテーマを決めて様々な形態の作品を完成させるワークショップ。D先生は編集者の立場から絵本に関するお話と作品講評を行う、等々。このように個性豊かな講師のアドバイス・考え方を吸収して、絵本作りに必要な「something」を学ぶことが出来ます。

■開講日

2020年9月中旬頃から
(夏休み・冬休みあり)

■講座数

年間30課程 / 1課程=2時間

■日時

Aコース / 日曜日午後2:00~4:00
Bコース / 日曜日午後5:00~7:00

■定員

A・Bとも各約15名

※Bコースは10名以上で開講

絵本わくわく塾

■特徴

「絵本わくわく塾」は、週末の授業には出られない人や、絵だけではなく、文章も深く学びたい方のためのコースです。

「ゆっくり塾」と同じく、絵本のプロとして第一線で活躍されている講師の方々と共に、わくわくしながら楽しく絵本と取り組む講座です。将来プロを目指す人はもちろん、絵本が好きでもっと奥深く学びたい方まで、幅広く対応しています。

■授業内容

このコースでは絵本作家や編集者だけでなく児童文学作家もおられるため、絵と文章をセットで学んでいきます。もちろん「ゆっくり塾」と同様、絵・ストーリー・画面構成など実際の絵本制作に則したことや、制作上の心構え、編集者から見た絵本の考え方、出版社への売り込みに関することなどの授業も行います。

例えばA先生はお薦め絵本の読み聞かせをしたり、B先生は漢字を使わないで文章を組み立てたり、C先生は絵本作りのきっかけになるアイデア出しの方法を実際に試してみたり、D先生は普段なかなかできない方法で絵を描いたりと多彩な内容です。個性的な絵本を作っておられる講師の方々があなたの絵本作りの応援をします。

■開講日

2020年9月中旬頃から
(夏休み・冬休みあり)

■講座数

年間30課程 / 1課程=2時間

■日時

水曜日 午後2:00~4:00

■定員

約15名

イラストじゅっくり塾

■特徴

「イラストじゅっくり塾」は、絵を描くことが好きでもっとスキルアップしたい人や、暮らしの中で使える絵を描いたり、絵を仕事にしたい方にもお薦めのコースです。

プロのイラストレーターとして第一線で活躍されている講師の方々のテクニックや、経験に即したさまざまなお話を聞いたり、作品を講評してもらいながら、各自のレベルに合わせて自分だけのオリジナルなイラストを、じゅっくり作りあげていく講座です。

■授業内容

このコースではイラストレーターの仕事のカテゴリーに入る様々な作品を実際に作っていきます。クロッキー、書籍の装画、CDジャケット、オリジナル雑貨、粘土で作る立体キャラクターなど。それぞれ独自の作風を持つ先生方と一緒に、色々なアプローチで自分の絵の世界を拡げていきます。使ったことがない画材や、自分では思いつかないような表現、多彩なテーマに沿った作品を制作することで興味が拡がり、技術的にも精神的にも成長できます。またプロが仕事の現場で実際に経験した生きた言葉は、これから皆さんが絵を描いていく上でのヒントになるはずです。

■開講日

2020年9月中旬頃から
(夏休み・冬休みあり)

■講座数

年間30課程 / 1課程=2時間

■日時

土曜日 午後2:00~4:00

■定員

約15名



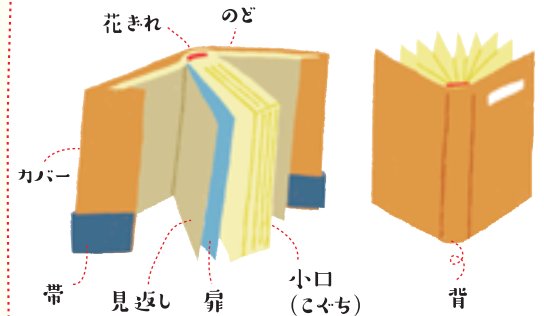
知っておきたい基礎知識

絵本の文章

絵本の文章は、縦書きと横書きがあります。縦書きは右から左へ読み進め、物語も左に進んでいきます。登場人物などの顔は、例外もありますが、正面か左向けにすれば絵本にリズムができて、読みやすくなります。逆に、横書きの文章は右にお話が進んでいくので、顔などは右向きにするとリズムがでできます。

本の各部の名前

本も人と同じように、各部に名前があります。実際に本を手にとって、最初は覚えにくいかもしれませんが、名前があることを知ってください。



アクリル絵具とガッシュ

アクリル絵具の具は、透明性があり水彩絵具の具のように重ね塗りをした場合は、下の色がある程度見えます。水分量を調整することで、水彩絵具の具のようにも使えます。

ガッシュは、不透明で重ね塗りをすれば下の色は見えません。またアクリル、ガッシュとも紙以外の木・布・金属・ガラスなどに描くこともできます。使うときは水を使いますが、一度乾くと耐水性になります。描き終わった筆は、早めに水で洗うようにしてください。

絵の具は、最初はセットで揃えないで、5~6色位を買ってから順番に揃えていきましょう。

■講師
荒井良二 飯野和好 太田朋 木村真
スズキコージ 高島那生 土井章史
はやしますみ WAKKUN (五十音順)



「絵話塾」では、絵本を教えるプロではなく実践で活躍されて、本もたくさん出版されています。先生の名前を聞いてもピンとこない方も、絵を見れば分かる方も多いと思います。授業内容は、教えるというより先生が今まで経験したことを生徒さんに伝えるような授業です。ですから「僕は先生ではないから、名前で呼

んでね」という方もいらっしゃるかもしれません。絵話塾に入る前に「絵はあまり描いたことがないのですが、入ってからついていけるかどうか不安です」という声をよく聞きます。たしかに生徒さんの中には始めから絵が達者に描ける方もいますが、大事なことは自分が絵を作りたいのに絵を描いたことがないと自分で理由をつけて、あきらめてしまわ

ないことです。誰にでも「最初」があります。絵本の場合はリアルな絵よりも、味のある絵が要求されます。もちろん基本のデッサンは必要ですが、それは練習すれば上達します。あなたも色々な理由で絵本を作りたいことを諦めないで、絵話塾で学んで一歩踏み出しましょう。



飯野和好 / 授業は3時間のライブのよう



スズキコージ / 教室内で作った作品の発表です



スズキコージ / ニュージーランドをイメージした作品の説明



荒井良二 / 生徒さんにアドバイス



荒井良二 / 授業が終わってから、生徒さんにサイン



土井章史 / 編集者からのアドバイスは説得力があります

絵話塾の教室は、失敗しても良い場所。

- 絵本のお話は、起承転結だけではなく何も起こらなくても良い。絵本だからストーリーはこうだと決めつけないこと。
- ゾウが空を飛んでも、花が喋っても良い。ただ絵本のなかで筋が通るようにする。
- チャンスは目の前にくらでも飛んでいる。チャンスをつかむには握力が必要。そのためには、普段から絵本の力をつけておく。
- コンペ(公募展)は、客観的に講評してもらえるから、応募する。そこからプロになるチャンスも生まれる。



太田朋 / しりとり絵本を作ろう!

卒業生のことば voice

酒巻 恵 sakamaki megumi
イラストレーター / 絵本作家

独学に眼界を感じて絵話塾に通うことを決めました。色々な授業を受け、絵本の奥深さと面白さを知り、もっと絵本が好きになりました。講師の方や仲間たちと会うことで、一人では開けなかった扉が開くこともあるかと思えますよ。

主な作品

- 『くだものおばけやしき』(ひかりのくに)
- 『ひげひげわたりひげ』(あかね書房)
- 『おしりびより』(WAVE 出版)
- こども向けの月刊誌・書籍の挿絵イラストなど

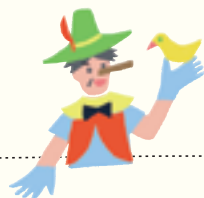


WAKKUN / 今日は大きな紙に墨で絵を描きます。まずは先生のデモンストラーション。迫力満点!



はやしますみ / 絵をかたまりとして考える、「マッス」の授業

■講師
太田朋 スズキコージ 高科正信
tupera tupera はやしますみ
松田素子 WAKKUN (五十音順)



この「絵本わくわく」コースは平日の水曜日に授業があります。日曜日がお仕事などで通えない方や、このクラスの先生が魅力で遠方から通われるという方もいます。このクラスだけの先生はツペラツペラさん、高科正信さん、絵本の編集者、松田素子さんです。日曜日の「絵本ゆっくり」コースとの違いは絵本のテキストなど、文章の勉強もします。入塾する前によく聞かれる

質問のひとつに、期間が長いので続くかどうか不安という方がいますが、授業もあと少しで修了する時期になりますと、意外と早くてしっかりと通えました、という方が多くいます。また仕事などで転勤になる場合、次年度に持ち越し制度もありますので、安心して通っていただけます。このコースの先生で絵本作家のツペラツペラ（亀山達強）さんの授業のひとつに「スゴロク」があります。まず

は皆さんでスゴロクのマスと自分のコマを作ります。作ったマスには止まりたくないものがいっぱい！ゴールが近づけば、スタートに戻るマスもあり、みなさん童心に戻って、思いっきり楽しんでます。この授業は人気があり、修了しても毎年この授業に参加する方も多くいます。



はやしますみ／授業後に作った作品を持って記念撮影



スズキコージ／制作中に先生のお話して盛り上がる



WAKKUN／先生が若いときのお話



スズキコージ／教室内で作った作品の発表



太田朋／生徒さんの質問に答える



高科正信／文章についてのお話とぜひ読んでいただきたい本の紹介

最後に、突然巡ってくるチャンスをちゃんと掴めるよう、基礎体力作りを日々怠らないように。

また、ここで出会った先生方、生徒さん同士の横のつながりは今後の財産となることでしょう。飛び抜けた才能のある人が活躍するわけではありません。長く続けることが大切です。

美術、デザインに就いた事もなく、イラストレーターへの扉を開いてくれたのはギャラリーVie絵話塾です。先生方は第一線で長く活躍されている方々ばかり。そんな先生方から、プロとして活躍し続けるためのノウハウを是非掴み取ってくださいね。

VOICE
卒業生(21)氏
MICAO
刺繍作家／イラストレーター



■絵本は子どもが予想している結末を良い意味で裏切る。でも期待は裏切らない。
■絵本は子どもだけのものではなく、誰でも使えるコミュニケーションツール。
■出版されている絵本は全てが良いとは限らない。何でこの絵本が出版されたの？もある。
■時間があっても、絵は描けない。絵を描く仲間がいることは大事。

絵本を読む力は、
絵本を作る力と同じ。



tupera tupera／ワークショップ風景

■絵本を作るときに、自分が言いたいことを全ていれると、作者はわかって読み手は、わからない。
■絵に自身のいない人は、好きな絵・イラストを模写してみる。模写することで構図や配色の勉強になる。
■1冊の絵本を作るには、子どもの心と大人のデッサン力が必要
■絵本を深く理解するには、1冊の絵本を何十回と本気で読むと良い。それで色々な発見がある。
■出された課題が出来なくても、授業に出て他の人の作品を見るのも勉強になる。



松田素子／1冊の絵本を制作するのは……

■講師
安齋肇 イナキヨシコ おさないまこと
たかいよしかず 寺門孝之 寺田順三
弓削ナオミ (五十音順)



たかいよしかず / 課題作品の講評

普段の生活のなかで、絵は好きだけど、絵についてお話ができる友だちはそう多くないと思います。「絵話塾」に通われる生徒さんは、年齢も職業も住んでいる所(遠くは千葉、沖縄、四国、鳥取など)も違いますが、イラストやアート、美術館などが好きという共通点が集まっているので、友だちが得意な環境です。イラストコースを修了されても、何人かでグループ展を開いたり、好きな展覧会を見に行ったりして、おおいに楽しんでいます。

また他の生徒さんのイラストを見ることで、刺激になったり励まされたりもします。先生のテクニックも教えていただけるので、今までと違った技法も身につきます。東京から泊まりで来られる先生は、授業が終わってから食事に行くことも多いので、授業中は聞けなかったことなども、遠慮なく質問できます。食事は第二の授業かもしれませんね。「イラストじゅくり」の授業は、年度によって多少違いますが、イラストを立体で作っ



和風をテーマにした生徒さんの作品

たり、実用的な雑貨を作ったり本の装画を描いたり多彩な内容です。いろいろな授業を受けることで、あなたのオリジナルな絵を発見することもできます。



イナキヨシコ / いろいろな雑貨作り

おさないまこと / 粘土を使った授業。最後はカレンダーに仕上げます



寺門孝之 / 授業内で描いた作品の講評

■イラストが上手くなるには、数多く描くこと。テクニックや構図を勉強するには、模写をすること。
■プロになる・ならないは別にして、絵は楽しみながら描く。
■プロの絵を見ることは、勉強になる。ギャラリーや美術館などに足を運び、一枚でも多くの絵を見(観)ることが大事。
■忙しくてもアンテナを張って新しいモノをインプットすることは、作品を作るうえで大切なこと。またインプットしたものを作品作りで生かす。
■イラストは、立体やコラージュなど、いろいろな表現方法がある。
■SNSなどを活用して、日々描いたものを公開して見ってもらうことも大事。

advice

voice

卒業生のことは

マメイケダ

画家 / イラストレーター

実績のある方たちが講師をしている、しかも神戸で会えるのはすごいな~と思ったのと、作家(描き手)だけでなく編集者の方も講師に入っているのが特にいいなって思いました。絵が上手になりたい、というのは最初からなくて、ただここに通う人たちに会いたいという気持ちでした。授業後の食事会のおかげで同期の人たちとは今も会ったり、お互いの展覧会を見に行ったりしています。本気な人や趣味の人、美大出身の人、そうじゃない人、いろんな人がいたのでそれがいいですね。先生たちの授業は一見ゆるいですが、その中で核心なるものがいつもあった気がします。



絵本



装画

才能とは続ける力。継続することで才能が生まれる



寺田順三 / 生徒さんの作品を講評する



弓削ナオミ / 生徒さんの質問に答える



安齋肇 / 課題の発表。安齋さんがひとり一人にアドバイス



2020年秋からスタートの講座

絵本・イラストのための

デッサンクラス 講師 未定

10月から約半年間のクラスで、「絵本・イラスト」にとって必要な、描く力・観る力を学ぶためのクラスです。また毎年春から行われる絵話塾の本コース「イラストじっくり塾」「絵本ゆっくり塾」「絵本わくわく塾」の授業に役立つ基礎画力もつけていきます。授業内容は、「モチーフを伝わりやすいようにデフォルメする」をテーマに、人物や静物、色彩・構図も勉強していきます。また外に出てスケッチ等も行っていきます。



生徒さんがモデルになって、クロッキーの練習



「神戸どうぶつ王国」でスケッチ



授業風景

- 開講日 > 2020年秋から約6ヵ月の予定
- 講座数 > 年間20課程 1課程 = 2時間
- 日時 > 土曜日 午前11:00~午後1:00
- 定員 > 20名程度 (定員になり次第締切)
- 受講料 > 121,000円 (税込)

(授業料 100,000円 + 通信費・雑費 5,000円
授業資料代 5,000円 + 税 11,000円)

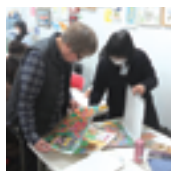
絵本のステップアップ

絵本 レベルアップ 講師 高島純 takabatake jun 松田素子 matsuda motoko

月1回約1年間のクラスで、講師は高島純さんと松田素子さんのお二人です。編集者の松田さんは、生徒さんが作った絵本の講評と絵本をもっと深く理解するためのお話。高島純さんは長年絵本を出版されている作家の立場から、ワークショップ形式で絵本に必要なトレーニングをします。年間じっくりと継続的に学ぶことで、絵本に対する取り組み方・考え方・制作スキルなどを、よりレベルアップすることを目指します。



松田素子/絵本を作るには、いろいろな人が携わっている



高島純/生徒さんが持ってきた絵本の講評



高島純/教室内で作った作品をみんなで見ている

- 開講日 > 2020年秋から約1年間の予定
- 講座数 > 年間20課程 1課程 = 2時間
- 日時 > 日曜日 午前11:00~午後1:00
- 定員 > 20名程度 (定員になり次第締切)
- 受講料 > 181,500円 (税込)

(授業料 160,000円 + 通信費・雑費 5,000円
+ 税 16,500円)

イラストのスキルアップ

イラスト レベルアップ 講師 山内庸資 yamauchi yosuke サタケシュンスケ satake syunsuke

月2回の授業で約8ヵ月間学んでいきます。講師はサタケシュンスケさんと山内庸資さんのお二人です。生徒さんとの対話を通じて、各自のイラストをよりレベルアップすることを目指します。構図・配色・技法など制作に関することから、作品の売り込み・コンペへの応募、SNSの活用方法などをじっくりと継続的に学ぶことで、イラストに対する取り組み方・考え方・制作スキル・自作のプロモーション方法などをよりレベルアップしていきます。



授業の後半はテーマを決めて絵を描きます



サタケシュンスケ/プロジェクターを使って授業をすすめていきます



山内 庸資/作品発表

- 開講日 > 2020年秋から約8ヶ月の予定
- 講座数 > 年間20課程 1課程 = 2時間
- 日時 > 土曜日 午後5:00~午後7:30
- 定員 > 20名程度 (定員になり次第締切)
- 受講料 > 181,500円 (税込)

(授業料 160,000円 + 通信費・雑費 5,000円
+ 税 16,500円)

文章を基本から学ぶ

文章たっぷりクラス 講師 高科正信 takashina masanobu

文章に特化した約8ヶ月間の講座で、伝えたいことがうまく伝わる魅力的な文章を書くことを目指します。基本となる原稿用紙の使い方、句読点の打ち方から、展開の仕方、推敲の際に気を付けることなど、文章を書く時に役立つことばかりです。課題に対しても、一人一人ていねいに指導されるため、確実に実力がつきます。基本は絵本や児童文学を書きたい人向けですが、エッセイや小説を書きたい方にもおすすめです。



授業は講義が中心で、課題も出ます



絵本の読み聞かせ



- 開講日 > 2020年秋から約8ヶ月の予定
- 講座数 > 年間20課程 1課程 = 2時間
- 日時 > 土曜日 午後5:00~午後7:30
- 定員 > 10名程度 (定員になり次第締切)
- 受講料 > 181,500円 (税込)

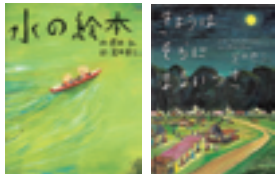
(授業料 160,000円 + 通信費・雑費 5,000円
+ 税 16,500円)

荒井 良二
Arai Ryoji

●
絵本作家
イラストレーター



山形県生まれ。『たいようオルガン』でJBBY賞を、『あさになったのでまどをあけますよ』で産経児童出版文化賞・大賞を、『きょうはそらにまるいつき』で日本絵本賞大賞を受賞するほか、2005年には日本人として初めてアストリッド・リンドグリーン記念文学賞を受賞するなど国内外で高い評価を得る。『みちのおくの芸術祭山形ピエンナーレ』を2014年～2018年まで務めるなど、その活動の幅を広げている。



その活動の幅を広げている。

授業の進め方

僕の授業は、いつもお話から始まります。最近起こった事、読んだ本、気になる事など……。授業の後半では、冊子を使って1冊の絵本のようなものを作ります。まあ絵本の準備体操です。何も条件がないと作りにくいと思うので、こちらからテーマを決めて作ってもらいます。例えば、全部のページに1本の同じ線を描く・行って帰って来るお話にする等。こうした決まり事や制限があると、その中で最大限出来る何かをやってみよう！ 探してみよう！ として作るのではないかな。そこから創作のアイデアが生まれてくるのではないかな？ と思っています。

授業の進め方

以前、絵話塾の講師をしていましたが、2018年度からまた「絵本ゆっくり」コースを担当しています。また皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。授業は自作の絵本をカンカラ三味線を弾きながら、読み聞かせをします。また生徒さんが作った絵本のダミーまたは絵本の講評をします。



授業の進め方

シンプルな絵と短い言葉で作る表現を得意としています。授業では、8ページ絵本を作るところから始めて、最後は「自分のエピソード絵本」を作ります。絵本という枠に取まらなくて、自分の作りた形、大きさ、長さ、手法も自由に作ってもらいます。授業中にアイデア出しをする時は、机を回り、生徒さん達の話聞き一緒に相談に乗りながら進めていきます。



飯野 和好
Iino Kazuyoshi

●
絵本作家
イラストレーター



埼玉県生まれ。長沢セツ・モードセミナーでイラストレーションを学ぶ。69年、雑誌「an an」に連載した『きみむかしやのピエロットものがたり』でデビュー。『ねぎぼうずのあさたろう その1』(福音館書店)で第49回小学館出版文化賞受賞。『小さなスズナ姫』シリーズ(偕成社)で第11回赤い鳥さし絵賞を受賞。『みずくみに』(小峰書店)で第20回日本絵本賞を受賞。絵本の制作以外に人形芝居の美術・衣装、絵本セミナーの講師など多方面で活躍中。またブルースハープ奏者としてライブ活動も行っている。

授業の進め方

シンプルな絵と短い言葉で作る表現を得意としています。授業では、8ページ絵本を作るところから始めて、最後は「自分のエピソード絵本」を作ります。絵本という枠に取まらなくて、自分の作りた形、大きさ、長さ、手法も自由に作ってもらいます。授業中にアイデア出しをする時は、机を回り、生徒さん達の話聞き一緒に相談に乗りながら進めていきます。

太田 朋
Ohta Tomo

●
絵本作家
イラストレーター



兵庫県生まれ。1994年よりポストカードの制作を始め、その後絵本も出版。『きみがはじまる』(学研)『うたたねネックとネムのくに』(文研出版)等がある。シンプルな絵と言葉による作品は、若い女性を中心に人気が高く、イラストが入った雑貨やカレンダーもたくさん作られている。また出版物の表紙や挿絵、広告、アニメーションなども手がける。関西を中心に作品展を多数開催。



tupera tupera は亀山達矢と中川敦子によるユニット。2002年より活動を開始。絵本やイラストレーションをはじめ、工作・ワークショップ・舞台美術・アニメーション・雑貨など様々な分野で幅広く活動。絵本など著書多数。海外でも様々な国で翻訳出版されている。主な著書に『かおノート』『やさいさん』『パンダ銭湯』など。また『しろくまのパンツ』(プロンズ新社)で日本絵本賞受賞。NHK Eテレ「ノゾーのひらめき工房」ではアートディレクションを担当。2019年アカデミー賞長編アニメ映画賞にノミネートされた、細田守監督の映画『未来のミライ』では、登場するキャラクターデザインを担当。京都造形芸術大学子ども芸術学科客員教授 <http://www.tupera-tupera.com/>

東京都生まれ。学研教育出版 幼児・児童書出版部に所属。『Pookal』『おはなしプーカ』の編集長を務める。今までに200冊以上の絵本を企画・編集する。担当した作品に『いつでも会える』(菊田まりこ)『パパはウルトラセブン』(宮西達也)『思いつき大百科辞典』(100%ORANGE)『ぼうしとったら』(tupera tupera) などがある。また絵本コンベンションなど絵本に関する活動も多数。



静岡県浜松市生まれ。1968年新宿歌舞伎町の路上にて初個展、1971年個展「コージズキンの世界」開催。「イラストレーター」の名称ができた頃にデビュー。1987年『エンソくんきしゃにのる』(福音館書店)で小学館絵画賞、1988年『ガラスめだまときんのつものやぎ』(福音館書店)と1989年『やまのディスコ』(架空社)で絵本にっぽん賞、2004年『おぼけドライブ』(ビリケン出版)で第35回講談社出版文化賞絵本賞。2009年『ブラックンダー』第14回日本絵本大賞。2014年姫路市立美術館にて「スズキコージの絵本原始力展」を開催。最新刊は『そもそもオリンピック』(玉川大学出版部)



授業の進め方
ボクは絵本だけではなく、ファッション・舞台美術・ワークショップなど広い分野で活動している2人組ユニット、ツペラツペラの1人です。初回の授業では、今まで出版した絵本がどうやって誕生したのかを、種明かしていきます。日常の中には絵本になる題材が沢山あって、それを絵本に出来るかな……と、いつも考えているのです。『やさいさん』『パンダ銭湯』『うんこしりとり』はそんな日常のアイデアから誕生しました。みんなでもワークショップをする授業もあります。NHK E テレ「ノゾーのひらめき工房」でも行っている、簡単な頭の体操から、「巨大すごろく」を作るワークショップまで、毎回楽しい授業です。

授業の進め方
本を出版・販売する側の編集者として、客観的な目で作品を見て講評します。海外の絵本の見本市などにも出かけて、海外と日本を比較しての違いなども具体的にお話します。授業では主に「ダミー本」の講評を行います。その都度ワークショップなども行います。例えば「食べ物」の絵本が主流になってきたと感じた時には、皆さんにもそれに関連した絵本で好きな本はないか聞いたり、また食べ物のキャラクターを考えてきてもらうこともあります。絵本は時代背景も大きく関係しているので広い視野で作ることも大事だと思います。

tupera tupera
亀山達矢

●
絵本作家



木村 真
Kimura Makoto

●
編集者



スズキコージ
Suzuki Kohji

●
絵本作家
イラストレーター



講師 PROFILE | 絵本コース

高科 正信

Takahashi Masanobu

児童文学作家



愛媛県生まれ。日本児童文学者協会会員。作品に『タンポポコーヒーは太陽のにおい』（理論社）、『モモコ』（文溪堂）、『ふたご前線』『ツバメ日和』『はくらの事情』（フレーベル館）など。本塾講師、荒井良二さんとの仕事に『おおきなおおきなさかな』『さよなら地底人』『さよなら宇宙人』（フレーベル館）。また本塾一期生、小林美佐緒さん作画の絵本『たまのりおたまちゃん』『がぶりがぶりのおかあさん』（いずれもフレーベル館）がある。他に『ぼっちたちの夏』（佼成出版社）『たぬきがくるよ』（絵・寺門孝之 BL 出版）、最新刊は『はしをわたってしらないまちへ』（福音館）などがある。

授業の進め方

児童文学作家で子ども向けのお話を書いています。普段は近所の海で釣りをしたり、釣ってきた魚で料理を作ったりして過ごしています。授業の初めには、最近読んだ本や好きな映画の話をしながらか、進めていきます。毎回テーマを決めてそれに合う絵本を、ボクが読み聞かせをしながら紹介していきます。授業のテーマは「幸福のあり方」「私とは誰か」「子どもの秘密」等です。絵本の中にこんなことが隠されているのか、こういうことを伝えたかったのか、という部分を説明します。絵本には沢山の魅力が詰まっています。あと、文章を書く課題を出します。原稿用紙の書き方も含めて添削してお返しします。

高島 那生

Takabatake Nao

絵本作家



岐阜県生まれ。東京造形大学美術学科絵画専攻卒業。絵本作家、イラストレーターとして活動中。第4回ピンポイント絵本コンペ入選『メガネをみてよ!』、第25回講談社絵本新人賞 佳作『むかったさきは…』。主な絵本作品に『はく・わたし』『チータ大セール』『でっころぼっころ』（絵本館）『いぬのムーバウいいいねいね』（講談社）『おまかせツアー』『クリスマスのきせき』（理論者）『だるまだ!』『カッパのあいさつ』『あるひこねこね』（好学社）『あいうえおんせん』（くもん出版）『バナナじけん』（BL 出版）『カエルのおでかけ』（フレーベル館）で日本絵本賞を受賞など他多数。www.nao-takabatake.com/

授業の進め方

ボクは今までと違う視点で絵本を作ります。例えば「描きたいシーン」の絵を何枚か描いて、描いた絵から連想する「コトバ」をつなぎ合わせて絵本を作っていきます。こうすると予測できない作り方が出来ます。また、今まで自分が作ってきた制作エピソードや、皆さんの前で絵を描いて、描く順番、筆の運び方、色の混ぜ方などを直接見てもらうこともあります。たまに天気の良い日には外に出て、アイデアを見つけないで行くワークショップを行うこともあります。



土井 章史

Doi Akifumi

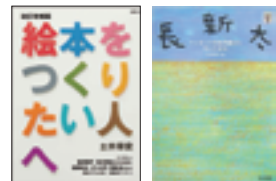
編集者



広島県生まれ。1988年頃から絵本の編集にたずさわる。1993年東京吉祥寺に小さな絵本の店トムズボックスをオープン。いままで300冊以上の絵本をトムズボックスの名で企画・編集する。多くの絵本作家のデビュー作に関わる。2003年から学研の月刊絵本『おはなしブーカ』の企画・編集を担当。また絵本のワークショップ「あとさき塾」を運営し、多くの絵本作家を輩出している。最新刊は『絵本をつくりたい人へ』（玄光社）。2019年、店舗を西荻窪に移転。

授業の進め方

トムズボックスの名で今までに300冊以上の絵本を編集しています。その経験を生かした編集者ならではの視点で、授業では主に「ダミー本」の講評を行います。また、作家さんとの制作秘話なども時々お話しします。子どもを喜ばせてみせる！ そんな心意気、意気込みを感じる作品をぜひ作って下さい。楽しみに待っていますよ！



京都府生まれ。京都精華大学美術学部デザイン学科卒業後、グラフィックデザイナーとなる。2008年度ギャラリー Vie 絵話塾修了。第10回ピンポイント絵本コンペ『ねーねーのしっぽ』で優秀賞受賞。自然の匂いや温度を感じる大らかな作品や、動物たちをユーモラスに描き出した作品が人気。『とんとんとんだれですか?』、『たんぼレストラン』、『どんどろめがね』など、絵本多数。最新刊は『ねこぼん』（偕成社）



授業の進め方

2018年度から「絵本ゆっくり」コースを担当している、はやしますみです。私の授業はワークショップを中心にすすめていきます。例をあげますと、厚紙を動物の形にハサミなどで切り、着色します。初めての方でも自分では思っていなかった形になり、味のあるイラストが完成します。また授業内でテーマを決めて絵を描いたり、動物や植物などを描くときのデフォルメの方法などを伝えていきます。あと絵本作家になった経緯、出版社への売り込みの方法などのお話しをする予定です。みなさん最初から絵本作家の人はいません！必ず初めがあるのです。みなさんにお会いできるのを楽しみにしています。

はやしますみ

Hayashi Masumi

絵本作家

絵話塾出身の先生です。



山口県生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。偕成社絵本編集部所属。後に『月刊MOE』の編集長を務める。1989年に偕成社を退社後、フリーで絵本を中心に企画・編集・評論の分野で活躍。これまで300冊以上の本の編集に携わる。また自然や科学の分野においても、企画・編集および執筆者として活動している。



授業の進め方

これまで300冊以上の絵本の誕生に関わってきました。その誕生秘話と経過のダミーなどを具体的にお見せしながら、絵本が生まれてくるために最も大切な作品の根っこの作り方や育て方からお話ししようと思います。時代を超えて読み継がれてきた絵本の力を、もう一度再確認する話も織り交ぜながら進めていきます。「読む力」と「創る力」とはつながっています。その上で、皆さんの作ったダミーを、現実的な出版の可能性という立場から講評します。読者としてもこれまで以上に絵本を楽しめるようになって欲しいし、それが作家としての底力（根っこ）につながっていくことを願っています。

松田 素子

Matsuda Motoko

編集者



神戸市生まれ。本名、涌嶋克己(わくしまかつみ)。1986年の初個展以来、毎年、関西を中心に展覧会を多数開催している。1990年絵本『ほっ』を出版。物語を空想しながら絵を描く少年の頃の気持ちがこもった独特の作品は、数多くのファンから「WAKKUN」の名とともに親しまれている。阪神・淡路大震災の時にWAKKUNの描くガッツ君のキャラクターに励まされた人は多い。



授業の進め方

授業は「起承転結」のお話を四人一組で作ったり、大きな和紙に墨と筆で絵や言葉を描いたりします。あまり絵本と関係ないように思えるかもしれませんが、これも表現の大事な肝になります。後半は「じゃばら本」というものを使って一冊の作品に仕上げっていきます。ボクがよく生徒さん達に言っているのは「上手く描こうとしない」ということです。上手く描くことよりもその時に感じた温度や湿度なども一緒に表現できたら素晴らしい。自分自身感じた心の震えまでもどんなやり方で作るといいのか、一緒に探していきましょう。

わっくん

WAKKUN

絵本作家

イラストレーター



安齋 肇

Anzai Hajime

イラストレーター
アートディレクター



東京都生まれ。桑沢デザイン研究所デザイン科修了。TIS会員。音楽に関する様々なビジュアルから、キャラクターデザイン、雑誌連載、装幀、アニメーション、ナレーション、展覧会や音楽活動など多岐に渡る。1992年よりテレビ朝日系「タモリ倶楽部」空耳アワー、TVドラマに出演することも。チョコベビーズ、勝手に観光協会、LASTORDERZ、宿題作品展オバンドス、フーレンズのメンバーとしても活動中。宮藤官九郎原作の絵本『WASIMO』や作品集『work anzai』ドローイング集『drow anzai』を出版。2016年初監督作品『変態だ』を撮る。



授業の進め方

ボクの授業では、毎回一人ずつに課題を出していきます。皆さんは、それぞれ描きたい絵、手法、好みなどそれぞれ違いますので、各自のやりたい方法をこの一年で見つけてほしいと思います。「絵話塾」は実験の場でもあります。また、絵の好きな、絵を描きたい人達が集まっていますので、いろんな描き方を試して皆の反応を見ていくと良いと思います。「絵話塾」を多いに活用してじっくりと楽しんで下さい。



イナキ ヨシコ

Inaki Yoshiko

イラストレーター



京都府生まれ。(有)ゴーズデザインを経て、2000年よりフリー。1996年玄光社イラストレーション「ザ・チョイス年度賞」特別賞受賞。2002年原宿・ROCKETにて初個展。石井好子「巴里の空の下オムレツ」においては流れる(扶桑社) 田辺聖子『残花亭日曆』(角川書店)等の書籍装画、『PARCO』やセレクトショップ『VIS』などの広告やノベルティグッズ、NHKラジオ第2放送のテキスト「英語で読む村上春樹」のイラストを担当。「Polka dot」(服飾雑貨/京都)のショップカード・ロゴやテキストスタイルを担当。



授業の進め方

毎回雑貨作りを行います。自分が作って楽しく、身につけて嬉しいものを作っていきます。例えば絵を買うとなると少し勇気が要りますが、雑貨ですと気軽に手軽です。人にプレゼントするなどのコミュニケーションツールとしても使えます。授業で作るのは、年度によって違いますが缶バッジ、砂絵、名刺作りなどです。缶バッジも一枚の絵柄の中から、切り取る場所を変えるだけで全く異なる作品に仕上がります。見え方・見せ方は無限にあります。人に喜んでもらうと自分も嬉しく、制作の励みになります。

授業の進め方

イラストコースの中で唯一「立体」の授業を担当しています。ボクは「立体」を作って、カメラマンと組んで撮影するスタイルをとっています。イラストといえば平面作品を思い浮かべる方が多いと思いますが、粘土も画材の一つと捉えて使えば、絵の幅と可能性も広がります。授業では、物語の一場面を立体で制作し、撮影してカレンダーを作ります。背景や登場人物の服など、何でも皆さんの工夫で頭をひねりながら一緒に作ります。先生に教わるという受け身ではなく、自分達で考えて進んでいく力を身につけてほしいと思っています。

おさない まこと

Osanai Makoto

イラストレーター



神戸市生まれ。宝塚歌劇関係の制作のアシスタント、デザイナーを経て87年よりフリーのイラストレーターとなる。現在は東京在住。主な仕事としてNHK教育テレビ連続ドラマ「ミニモニ。でプレーメンの音楽隊」エンディングタイトル立体イラスト制作。JR東海新幹線キャラクター。パルメザンチーズのキャラクター「パルメくん」。長野朝日放送テレビキャラクター「モーリーとりんごちゃん」。小学校の教科書『新しい算数』(東京書籍)の表紙。関西でも神戸須磨パティオのキャラクター「パティ」。毎日ランニング、ウクレレを楽しんでいます。

大阪生まれ。大阪芸術大学デザイン学科卒業。(株)京田クリエーション入社後、多くのキャラクターデザインを手がけ、イラストレーターとしても活躍。見る人を元気づけられる作品を作ることがモットー。代表作に明治「マーブルわんちゃん」、西宮市たひ博キャラクター「みやたん」、招き猫とダルマを合体させた『ネコダルマンワールド』を展開。童心社『怪談レストラン』シリーズの装丁・挿絵、くもん出版絵本『おはなし・くろくま』シリーズなど多数。2001・2003・2006・2011年イタリアボローニャ国際絵本原画展入選。



授業の進め方

キャラクターデザインを中心に授業を進めていきます。絵の世界は上手い下手ではないんです。ボクの考えでは「やる・やらない」、「好き・嫌い」、「合う・合わない」の3つではないかと思っています。一歩踏み出せばその先必ず何かにつながるはず。でも、やめたらそこで終わりなんです。ボクが今この絵の世界にいられるのは絵を描くことをやめなかったからです。描き続けるためには何をすれば良いのか、授業でお話していきたいと思っています。またおすすめの本やマンガ、アニメ、映画、展覧会など毎回紹介していきます。



名古屋生まれ。大阪大学文学部美学科卒業。セツ・モードセミナー卒業。1985年第6回日本グラフィック展大賞受賞。光溢れる天使や、溶けるような夢や物語の世界を描き、個展をはじめ、書籍の装画、広告、ライヴペインティングなど幅広く活動中。著書に『納豆の大ドンブリ』(岩崎書店)『てらびか映画日誌』(風濤社)、『DREAM DREAM』(ブルース・インターアクションズ)、『天使のカレンダー』(リトルモア)絵本『ぼくらのオペラ』(イースト・プレス)など多数。2010年公開の映画「人間失格」で主人公が描く絵を担当。現在、神戸芸術工科大学教授。



授業の進め方

主に課題を出して講評する形をとっています。これまでに出した課題の例で言いますと、「わたしのアイドル」「変身願望」「読書感想画」など。今はネットでいくらでも検索できるので、調べてもあまりわからないような、自分自身で考え、想像できる、そうせざるを得ないような課題を、とっています。絵を描くことは、太古から人類が今まで永く生み出してきた行いです。いまあなたが絵を描いたとすると、それは人類史上何番目の絵になる訳です。歴史的瞬間なのです。絵を描くとは一体どういうことか。そういった大きい広い視点で見ていくことも含めて、皆さんと「絵」について深く話し合っていきたいと思っています。

授業の進め方

文字と絵の構成を考えながら、「本の装丁」「カレンダー」「パンフレット」等の課題を出し、講評します。イラストは原画が完成というよりも、人の目に触れるのは印刷された状態のものがほとんどです。どのような状態で完成まで持っていくのか、色の濃淡や文字の配置など細部まで計算して描いていきます。また、絵は描かないと上手くはありません。そしてそれを人に見てもらわなければならないのが大切です。授業では他の生徒さんの作品もしっかり見て、どうやって描いているのかも聞いて吸収していきましょう。



たかい よしかず

Takai Yoshikazu

HAPPY CREATOR



寺門 孝之

Terakado Takayuki

画家・イラストレーター



寺田 順三

Terada Junzo

イラストレーター



講師 PROFILE | イラストコース

福田 利之
Fukuda Toshiyuki
イラストレーター



大阪生まれ。大阪芸術大学グラフィックデザイン科卒業後イラストレーターに。エディトリアル、装丁、広告、絵本、テキスタイルデザインその他、ムーンライダーズ、スピッツのCDジャケットなども手がける。主な著書に作品集『benoit』(ユトレヒト)、『コジナ帖』(ワールドコム)、『福田のフォト絵』(ヴィレッジブックス)『ミニカーミュートだいかつやく!』(アリス館)など。最近では「十布(テンブ)」というブランドで様々な種類のテキスタイル、布プロダクトを制作する活動もしています。



弓削 ナオミ
Yuge Naomi
イラストレーター



大阪生まれ。京都芸術短期大学(現京都造形芸術大)ビジュアルデザインコース卒。デザイン事務所勤務後、イラストレーターとして活動。雑誌・書籍・CDジャケット・広告ポスター・化粧品パンフレットなどに作品を提供。個展やグループ展多数開催。女性や猫をモチーフにした作品が多く、どこか懐かしさを感じる世界を、墨・アクリル・デジタル彩色などで表現しています。元専門学校非常勤講師。愛猫家。

kaiwajuku
OB・OG
卒業生の声



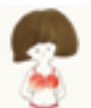
絵話塾で学んだことを活かし、修了後も継続的に作品展を行ったり、公募展に出品したり等、活動を続けています。またプロとして活躍している方も多く、ここでは一部だけですが、卒業生の声を紹介いたします。

いだりえ
イラストレーター
絵本コース修了



絵を描くことを仕事にしたいと意識するきっかけになった場所です。先生のお話を聞いたり、個性的な授業を受けたり刺激的でした。一番嬉しかったことは、絵が好きな友達が出来たことです。絵話塾に通うのが楽しくて仕方なかった。今からそんな気分を味わえる人がうらやましいです。

小夜
イラストレーター
イラストコース修了



絵話塾は純粋に面白そうだったので入塾しました。経験豊富な先生方のお話や講評、人の作品を見る、使った事のない画材に触れる等、インプットとアウトプットに富んだ授業。それでいて雰囲気絶妙にユルい。肩を張らずに学びました。入塾前の漠然とした制作が、鮮明になりました。

授業の進め方

時間内に完結するワークショップ形式で授業を進めていきます。主に「コラージュ」という手法で、切ったり貼ったりしながら制作してもらおうことが多いです。平面に描くだけが絵ではありません。コラージュはスピード感や引き算が大事です。授業でやったことをこれで終わりにせず、それを更に自分なりに発展させて、やっていって下さい。イラストレーターになりたい人は大勢いるので、他の人がやらないようなことをしないと埋もれていってしまいます。常に新しいことを探し試して挑戦してほしいと思います。

授業の進め方

楽しむこと。見つけること。を大切にしながら制作します。いろんな画材を使いながら、描き方のノウハウと、新しい表現方法と一緒に広げていきましょう。イラストを描いて発表することは、自分をさらけ出すこと。また、自分だけの世界で満足せずに、みんなの作品を見て刺激を受け、ステップアップしましょう。

ツダモトシ
アーティスト
絵本コース修了



絵を描く事が好きで何かをしたいとずっと思っていたのですが、どうしているのかわからない時に絵話塾を知り、思い切って入ってみたことが自分の表現活動のスタートだったと、今は思います。素晴らしい先生、スタッフ、友達に出会えたことは何事にも代え難い事です。

駒井和彬
デザイナー
イラストレーター
イラストコース修了



絵話塾に入って、人の作品を見たり自分の作品を見てもっとりする機会がたくさんあったのがとても良かったです!

他卒業生は絵話塾のサイトをご覧ください。
<http://galleryvie.jp/obog.html>

特別コースは一年間3コースを受講できるシステムです。絵本もイラストも興味ある方は集中的に勉強できるので、受講料も含めてお得なコースです。ぜひご検討ください。

案内の冊子を見て、特別コースというのがあるんですね。どんなコースですか？

家やすこし遠いのですが、生徒さんは近くのほうが多いのですか？意外と近くの方は少なくから通われる方が多いですね。今まで一番遠い方は千葉や沖縄の方もいました。皆さん時間をやり繰りして通われています。



絵話塾を受講する前に不安に思っている方、何か疑問のある方、参考にしてくださいね。

Q 仕事で転職になって授業に参加できなくなりました。どうすればいいですか？

1年の間にいろいろなことがありますね！仕事・結婚・出産など……。安心してください。通えなくなった場合は、残りの授業日数を来期に持ち越せますので、落ち着きましたら、また授業に参加することができます。

Q 絵本のクラスは水曜日と日曜日があるのですが、何が違うのですか？

どちらも絵本のコースですが、大きな違いは、水曜日は児童文学作家の高科正信さんの文章の講義があることです。またツペラ・ツペラ、松田素子さんは水曜日。荒井良二・土井章史・木村真・高島那生さんは日曜日のご担当です。

Q 他のコースの授業も受けてみたいのですが、受講できますか？

在校生・卒業生であれば、事前に予約を取っていただきましたら他のコースの授業も受けることができます。この場合は用意する持ち物などもありますので、遅くとも1週間前までに予約してください。

Q 絵話塾の先生に授業が終わってから、先生の本にサインしてもらいたいのですが。

大丈夫です。授業が終わってから、どの先生もサインは気軽に応じていただけます。先生の本を事前に購入されても、また家にある本を持ってきても大丈夫です。

Q 絵本の公募展に出たいのですが、何か注意点はありますか？

絵本の公募展(コンペ)の種類は数多くありますが、おすすめは、東京のピンポイントギャラリーが主催している「ピンポイント絵本コンペ」と「講談社絵本新人賞」です。この二つはプロの絵本作家になる近道のひとつです。絵話塾の先生の中にも、これらのコンペで入賞経験がある方がいます。ほかに「日産童話と絵本のグランプリ」もおしま国際手づくり絵本コンクール」またイタリアの「ポロニーヤ国際絵本原画展」も有名

Q 授業料以外で指定の画材などは、購入する場合がありますか？

指定の画材はありません。ご自身が使いたい画材で構いません。またどんな画材がいいのか分からないときは、スタッフまたは先生に授業後に相談していただいてOKです。

Q 授業日以外に教室に来て絵を描くことはできますか？

教室が空いている日でしたら、使っていただいて構いません。時間は12時以降で事前に連絡をいただきましたら、自由に教室を使ってください。

その他にわからない事がありましたら、メール・電話でご遠慮なくご質問ください。

ギャラリーヴィー絵話塾
tel.078-332-5808
e-mail kaiwajuku@galleryvie.jp



お申し込みから入塾までの流れ



- 1 コース選定**
 - 絵本ゆっくり塾
 - 絵本わくわく塾
 - イラストじっくり塾
 - 特別会員コース

4コースがありますので、興味のある講座をお選び下さい。
- 2 申込方法**
 - 郵送
 - 当塾での受付

Eメールでのお申し込みは受付しておりません。お急ぎの場合はFAXで仮申込ができます。
(後ほど申込用紙を郵送またはご持参下さい)
f a x 0 7 8 - 3 3 2 - 5 8 0 7
※入塾に際し、簡単な面接を行う場合がございます。

- 3 郵送での受付**

右頁の申込用紙に写真を貼付し、必要事項をご記入のうえ、ギャラリーVie(ワイ) 絵話塾までお送り下さい。
〒650-0022
神戸市中央区元町通3-2-15
セントラルビル元町5F
ギャラリーVie(ワイ)
絵話塾まで
- 4 当塾での受付**

右頁の申込用紙に写真を貼付し、申込書に必要な事項をご記入のうえ、「ギャラリーVie(ワイ) 絵話塾」までお持ち下さい。
※場所は下記の地図を参照
- 5 必要なもの**
 - 写真(申込書貼付用)
 - 申込書(自筆)

写真は本人と分かるものであれば携帯で撮ったものでも構いません。
- 6 申込受付期限**

● 授業開始日の3日前
※当日消印有効

但し、各コースとも定員になりしだい申込受付は終了させていただきます。

- 8 お支払い方法**

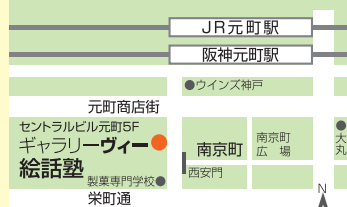
支払時期はご相談に応じます
受講料はお申込みから1ヵ月以内に下記の方法でお支払い下さい。

 - 銀行振込
三菱UFJ銀行
神戸中央支店 普通口座
口座番号 3892520
名義 ギャラリーVie
村上政行(ムラカミマサユキ)
 - 郵便振込(ゆうちょ銀行同士)
記号14320 番号48425941
 - 郵便振込(他行からの場合)
店名 438 (ヨサンハチ)
普通・口座番号4842594
名義 村上政行
 - 現金書留/受講料と申込書を同封のうえ、ギャラリーVieまでお送り下さい。後日、領収書を郵送いたします。
 - 現金/ギャラリーVieまで直接お持ち下さい。
 - 分割払/ご相談に応じます。

7 見学・体験受講
各講座とも見学・体験受講を随時受付しておりますので、ご希望の方は絵話塾までメールまたはお電話で、お申し込み下さい。
0 7 8 - 3 3 2 - 5 8 0 8
kaiwajuku@galleryvie.jp
※見学・体験受講は各コース1回ずつ



お問い合わせ先・申込書送付先
〒650-0022
神戸市中央区元町通3-2-15
セントラルビル元町5F
ギャラリーVie 絵話塾
tel 078-332-5808
fax 078-332-5807
e-mail kaiwajuku@galleryvie.jp



■ 絵話塾の場所
JR・阪神元町駅西口下車南へ徒歩約3分。
ビルの1Fにホリズカフェがあります。
ビルの左側の扉から入って奥にあるエレベーターで5Fです。

右の申込用紙を
コピーしていただいても結構です。

右の申込用紙を
郵送または
直接
ご持参下さい

授業スタート

- 絵本ゆっくり塾(日曜日)…9月中旬頃
- 絵本わくわく塾(水曜日)…9月中旬頃
- イラストじっくり塾(土曜日)…9月中旬頃
- 各受講料は 250,800円

✉kaiwajuku@galleryvie.jp

- ホームページ
http://www.galleryvie.jp
- 絵話塾だより(ブログ)
http://blog.goo.ne.jp/kaiwajuku
- フェイスブック
facebook.com/kaiwajuku
- Twitter
twitter.com/kaiwajuku
- Instagram
kaiwajuku_insta

受講料

- 絵本ゆっくり塾
- 絵本わくわく塾
- イラストじっくり塾
- 各講座 年間受講料
入会金…………… 30,000円
年間の通信費等・雑費… 5,000円
授業料…………… 193,000円
計 228,000円+22,800円(税)
合計 250,800円

● 特別会員

- 1年間好きな講座を3コース
(上記3コース選択)受講できます。
- 授業料(税込)
入会金…………… 30,000円
年間の通信費等・雑費… 5,000円
授業料…………… 360,000円
計 395,000円+39,500円(税)
合計 434,500円

2020年度 第17期生 申込用紙



申込日 年 月 日

ふりがな _____

氏名 _____

男・女 _____

生年月日 ※生年月日の記入は自由です。
年 月 日

ご本人確認のために必要です。顔写真を貼付して下さい。カラー、モノクロどちらでも構いません。プリンターで出力したものでOKです。

受講コース(ご希望のコースを○で囲んで下さい)

- 絵本ゆっくり塾A 14:00~16:00 B 17:00~19:00
(日曜日) Bクラスは10名以上で開講
- 絵本わくわく塾 14:00~16:00
(水曜日)
- イラストじっくり塾 14:00~16:00
(土曜日)
- 特別会員 左下に内容を記しています。
特別会員コースの受講料は左記参照

住所 〒 _____

都 道
府 県

連絡先

TEL

携帯

FAX

E-mail パソコン

携帯

※授業の連絡に必要です。アドレスをお持ちの方は必ずご記入下さい。

勤務先(学校)

※記入は自由です。

ご注意

各講座とも先着順に受付しておりますので、定員になり次第締め切らせていただきます。受講料はコースの開講ができない場合にのみ、全額返金いたします。中途退学による返金はいたしませんのでご了承下さい。



お問い合わせ・申込書送付先

ギャラリーヴィー 絵話塾

神戸市中央区元町通3-2-15

セントラルビル元町5F 〒650-0022

tel. **078-332-5808**

fax. 078-332-5807

✉ kaiwajuku@galleryvie.jp

● ホームページ

<http://www.galleryvie.jp>

● 絵話塾だより(ブログ)

<http://blog.goo.ne.jp/kaiwajuku>

● フェイスブック

[facebook.com/kaiwajuku](https://www.facebook.com/kaiwajuku)

● Twitter

twitter.com/kaiwajuku

● Instagram

[kaiwajuku_insta](https://www.instagram.com/kaiwajuku_insta)

